

製品紹介

栄四郎瓦は、伝統的製法で生産するいぶし瓦では全国最大の生産量を誇り、和形、S形、平板瓦など各種粘土瓦を生産する三州を代表するブランドです。



製品についての詳細は、
栄四郎瓦株式会社
栄四郎瓦webサイトをご覧ください

栄四郎瓦

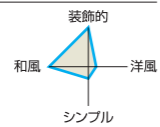


和形

和洋、用途を問わず広く親しまれている伝統的な瓦。

標準設計価格(㎡) 11,800円～

防災瓦

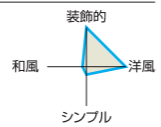


エスパニカ

スペイン瓦を改良して施工性を向上させたS形瓦。

標準設計価格(㎡) 12,300円～

防災瓦

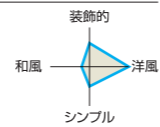


プラウドBB40

ウェーブ瓦と平板瓦の特徴をあわせ持ったハイブリットタイプ。

標準設計価格(㎡) 9,800円～

防災瓦

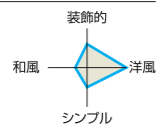


カバラスKS40

シャープさとボリューム感をあわせ持った波型瓦。

標準設計価格(㎡) 11,200円～

防災瓦

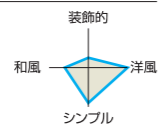


ローマンLL40

水返し機能を備えたラインが柔らかな印象を与える平板瓦。

標準設計価格(㎡) 9,800円～

防災瓦

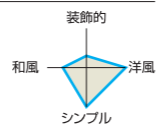


プラウドプレイン

シャープな表情で、太陽光パネルとの相性も良いフルフラット瓦。

標準設計価格(㎡) 9,800円～

防災瓦

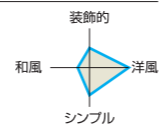


プラウドUU40

南欧的な雰囲気を持ったU形平板瓦のスタンダードタイプ。

標準設計価格(㎡) 9,800円～

防災瓦



備考 ●施工規模は100㎡以上とし、ガイドライン工法によるものです。●本体工事は全数緊結。●切妻屋根、標準勾配(4寸～5寸)で標準的な形状の粘土瓦を使用したものです。●強風、多雪地帯又は高所及び特殊工事の場合にご相談ください。 ※2014年5月現在(価格は予告なく変更することがあります)

●三州瓦について 愛知県西三河地方で生産され、「地域ブランド」として全国的にも広く認知されている三州瓦は、全国の粘土瓦生産量の約60%を占め、耐久性や寸法精度などで高い品質を備えています。全国各地の社寺建築や大手住宅メーカーで採用されている三州瓦が他の瓦と特に異なる点は、焼成の段階で、1100℃以上の高温で長時間かけて焼きしめること。豪雨や台風の時でも家を守り、雨漏りを防ぐとともに、寒冷地でよく起こる亀裂や剥離などの凍害にも強く、また耐火性にも優れています。

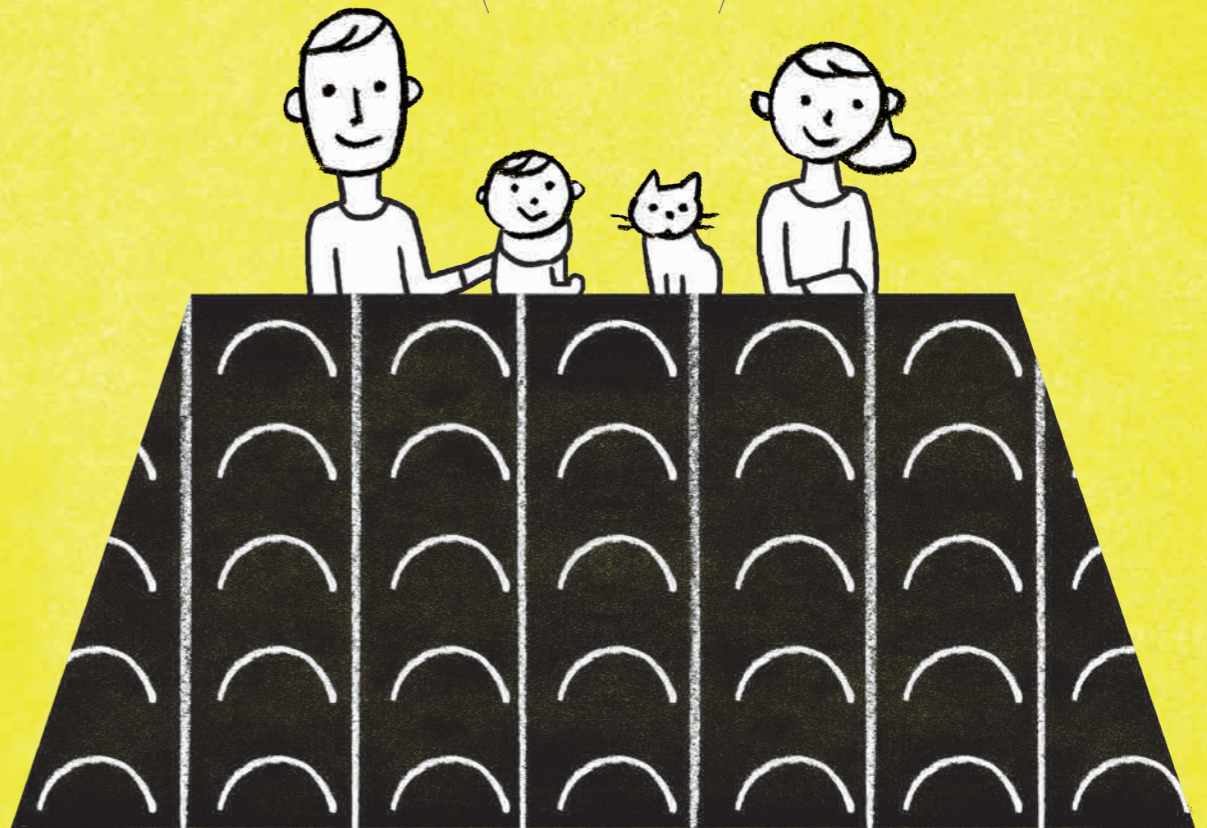
製品は改良のため、予告なく変更することがあります。／本パンフレットは印刷物のため、現物の色と多少の違いがあります。

EISHIRO 栄四郎瓦株式会社
栄四郎瓦 検索

本社 〒447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel.0566-48-5115 Fax.0566-48-2416
関東営業所 〒321-3233 栃木県宇都宮市上籬谷町3097-3
Tel.028-612-5823 Fax.028-612-5824
九州営業所 〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀5529
Tel.0942-94-4460 Fax.0942-94-4383



安心して
長く暮らせる
私らしい家をつくりたい方、
必見です。



マンガで学べる屋根材入門

わが家が
瓦屋根を選んだ
理由。

快適な毎日を支える 屋根は大事なパートナー。

機能的で快適、風雨や災害に強く、お気に入りのデザイン。

あなたの理想のマイホームを建てる上で、
屋根材選びも重要なポイントのひとつです。

毎日の家族の暮らしやあなたのイメージにぴったりの
屋根について一緒に考えてみませんか？



ママ
31歳、現在は専業主婦。良い環境でのびのび子育てしたいと願う。カフェが大好き。

パパ
35歳の会社員。家族の将来を考えて、そろそろ家を建てようとおもって検討中。

いらか
1歳。最近、積み木あそびがお気に入り。

ところで、屋根材って どんな種類があるの？

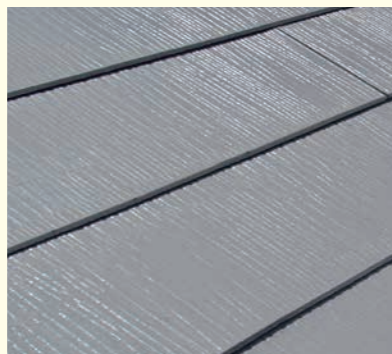
一口に住宅の屋根材と言っても、古くは茅葺き・樹皮葺きなど草木系から、瓦・石・金属まで様々なタイプがあります。その中で昨今は主に「粘土瓦」・「化粧スレート」・「金属」の3種類が広く一般的に使われています。

粘土瓦



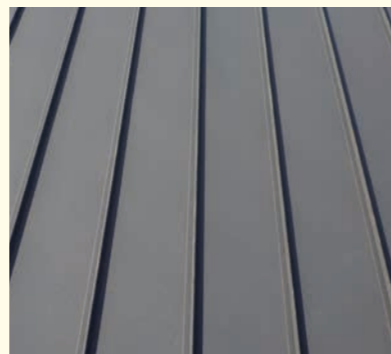
粘土を使った焼きものの屋根材で、表面に釉薬が塗られている釉薬瓦と、焼成方法によって発色させるいぶし瓦などがあります。表面は強く、色味に関しては半永久的にメンテナンスがいりません。いぶし瓦においては、年月とともに深い味わいが出てきます。

化粧スレート



セメント、ケイ酸質原料などを用いて、加圧成形した板状の合成スレートに、着色したもので、施工しやすいのが特長です。以前は不燃性を保つため石綿(アスベスト)を使用していたが、現在では人工繊維や天然繊維を使用した無石綿の物に変わっています。

金属



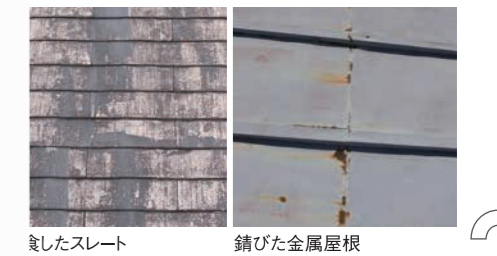
銅板・銅板・カラー鉄板などの種類があり、加工しやすく施工性がよいことから複雑な屋根形状ができて、葺き方のバリエーションが多いことが特徴です。最近では、モダンなデザイン性から、ガルバリウム鋼板の金属屋根が多用されています。

でも、瓦って高いんでしょ？



初期コストは確かに高いですが
期的にはとても経済的。

初にかかる費用が、瓦は他の屋根材と比べ高いのは事実です。しかし瓦屋根は耐久性にれ、長期の使用に耐えられるためメンテナンスコストがかかりません。一方、スレート系や属系は、製品にもよりますが10年くらいから色や錆が発生し、定期的な塗り替えや葺きえが必要となります。30年、40年の長期にたつて考えると、瓦屋根は実に経済的です。メンテナンスの手間もなく、丈夫で長持ちするは、決して高い屋根材ではないのです。



メンテナンス費用の比較イメージ
根面積100m²として試算)

	化粧スレート	栄四郎瓦
初期コスト	約50万円 (約5,000円/m ² として)	約100万円～※ (約10,000円/m ² として)
10年後	約70万円 (表面塗装+足場)	—
20年後	約70万円 (表面塗装+足場)	—
30年後	約120万円 (葺き替え+足場)	—
合計	約310万円 (表面塗装+足場)	約100万円～※

●化粧スレート費用は住宅産業協議会資料をもとに算出
※商品によって異なります。

30年で比較すると…
**瓦が、約210万円
お得です!**



それに、瓦は地震に弱って聞いたけど？

瓦にしておけばよかったわー

お母さんはああ言ってたけど

かろう、

瓦屋根は地震が心配よね...

かあへえお義母さんち屋根直してるんだ

そうなのパパ

瓦ねえ...

ママ 瓦について少し調べてみたよ

確かに耐久性はすごいね

割れたりしなければ半永久的だって

1400年前の瓦が現役!?

メンテナンスはラクなはずだね

すごい

そういえば出土したりするわね...

地震については瓦というより家の強度の問題みたい

今は瓦もきちんと固定するから揺れで落ちたりもないって

そうすれば家の瓦だって1000年後現役って事もあるわね

下の構造をちゃんと作れば大地震にも耐えうるって

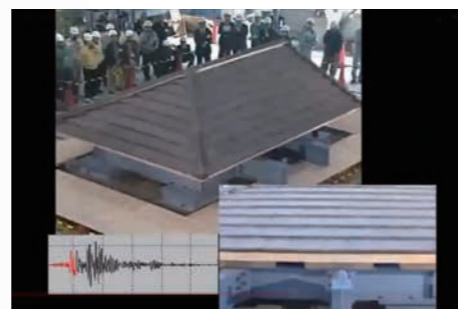
そこ目指しちゃう!?

安全で、長持ちならいいよね。

ガイドライン工法に基づいた施工なら地震対策もバッチリ。

瓦の屋根は地震に弱いというイメージを持たれている方が多いようです。しかし、現行のガイドライン工法で正しく施工された建築物であれば、たとえ阪神・淡路大震災や東日本大震災クラスの揺れでも安全であることが、専門機関による耐震テストで確認されています。建築基準法では、重い屋根でも軽い屋根でも、それぞれの重さに応じて設計されるので、完成した家の耐震性は同程度。むしろ重い屋根を支えるための柱や筋交い、壁などが地震の揺れに対して、より安全と言えるかもしれません。

震度7クラスの振動実験にも耐えられることが確認されています。



「寄棟」形状の屋根での実験の様子。瓦の脱落、ズレ、浮き上がり等は一切確認されませんでした。(2004年10月実施)



実物大の伝統的木造軸組構法住宅の耐震性能検証実験でも施工した屋根瓦に損傷はありませんでした。(2008年11月実施)



もうひとつの大きな心配、台風も大丈夫？

スレぶりー 元気だったー?

この間の台風すごかったね大丈夫だった? うちのお隣の瓦屋根はがれちゃったみたいなの

うちも瓦屋根だけど大丈夫だったよ

あれ? ヨウコの家とってもオシャレでモダンなデザインだったよね 瓦屋根なの?

うん 瓦だよ

最近の瓦って種類がたくさんあるの フラットな形のとかね

瓦って飛んだりするんでしょ?

今はそう簡単には飛ばないよ

うちは防災瓦っていうの だし 昔と違って かなりしっかり留めてあるの

そのお隣りさんちみたい

お隣りのお宅は古い施工方法のままだったかもね

もし 修理が必要になったとしても 1枚から替えられるから直すのはラクだよ

瓦って意外に頼もしいね

紙おむつみたいだわ!

その例えどうなのかなあ...

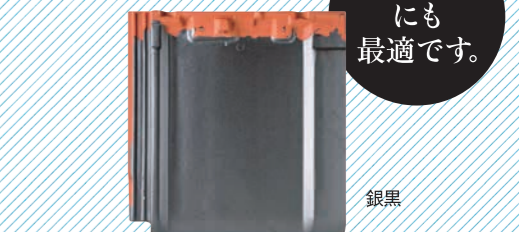
一枚から替えられる

ガイドライン工法なら、台風も安心です。

防災瓦の普及により、強風で瓦が飛ぶようなことは少なくなりましたが、今でも飛散被害の報告があります。現在では、建築基準法に基づく「ガイドライン工法」が広く行われ、瓦をしっかり留付ける工事が推進されています。

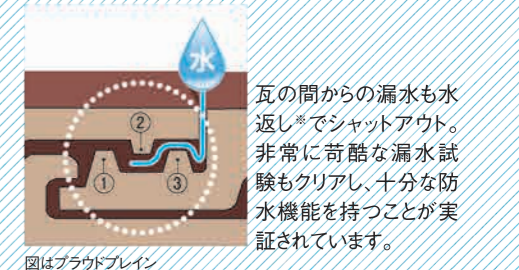
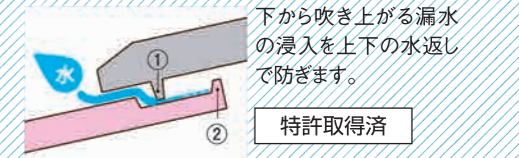


優れた耐漏水性で屋根を守ります。



●プラウドUU40G 防災瓦

社内漏水試験において、有効な結果を出し、他メーカーの平板緩勾配瓦を凌ぐ機能を持つことが実証されています。



*機構・形状は商品によって異なります。



わたし達にぴったりの瓦、ありますか？

かくして家づくりが本格的に始まり...

屋根材を選ぶことに

瓦がいっぱい
ことはわかってきたけど...

どこの瓦にするかね...

う〜ん

調べてみよう

私達の家のイメージに合う瓦があるところがいいわよね

あここなんてどう?

粘土から一貫して作っている唯一の三州瓦メーカー...

栄四郎瓦...

品質に信頼おけそうね

スゴイよ創業1801年だって

江戸時代だ

あ!しかも瓦の種類が豊富みたい! いいじゃない!

ここならしっかりした屋根で憧れのカフェっぽい家が建てられるかも...

ヘーこの銀いぶし瓦っていうのシブくていいなあ

こういう瓦で古民家っぽい家っていうのもアリかもね

キラーン

シルバーグレイマキ

キレイ

カフェ講座に通おうかしら!

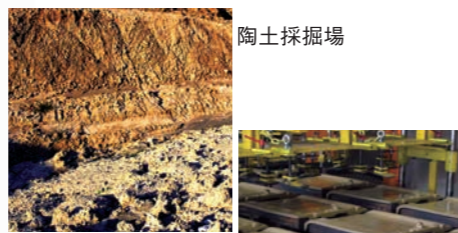
いやママお店作るワケじゃないから...

【栄四郎瓦株式会社】
創業200有余年。
これからも瓦文化の発展と、
良質な屋根材供給のために...

当社は1801年(享和元年)の創業以来、3代目 横山栄四郎に至って、屋号を「丸栄」と名付けました。江戸末期より今日まで、瓦はどうあるべきか、住まいはどうあるべきかを常に問い、建築文化の一翼を担ってきたと自負しています。また、3代目 栄四郎にちなみ、製品群を「栄四郎瓦」と名付け、三州粘土瓦のリーダーシップブランドを心掛けてまいりました。「良い物」は機能だけではなく、人と物の間を行き来する目に見えないものがあるはず。伝統という座を固守するだけでなく、現代的な技術と未来的な感性の融和をめざしています。



本社(愛知県碧南市)



陶土採掘場



本社工場(愛知県碧南市)



あたりまえだけど、快適に暮らせなきゃ!

いろいろ...

大変だったけど...

やっぱり自分達で建てた家はいいね!!

住んでみて初めてわかったけど...

瓦屋根って静かだね!

あ

実家はこんなじゃなかったわ

雨ふってる... ホントだ気づかなかった

実家は雨音が結構したのよ

夏の暑さも違ったよね

帰ってきたとき前ほどもわっとしなない!

今思うと

そうそう

屋根って大事ね

将来太陽光パネルをつけたくなくても対応できるらしい

瓦にしてよかったなあ

パパ

見て

家次は子供が立った!

ママ

ビデオどこだっけ!?

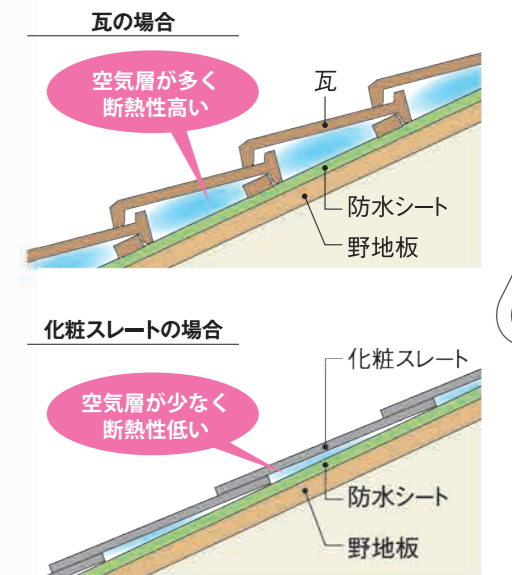
立ってる

おしまい

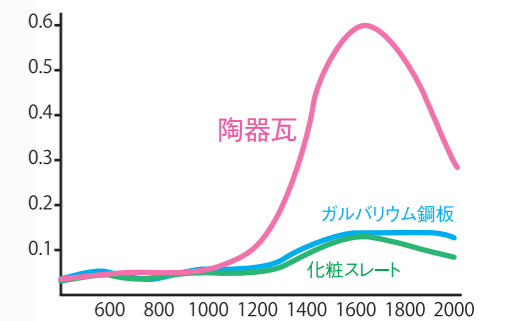
瓦は四季の温度差に強く、遮音性にも優れています。

化粧スレート、金属系の屋根材と比較すると、瓦は熱を伝えにくい性質を持っています。また瓦と屋根面との間にある空気層も断熱効果を生むので瓦屋根は冷暖房効率の良い家を作り出すと言えます。さらに、遮音性にも優れ、金属系で特に気になる雨音などの問題もありません。

空気層が高い断熱性のポイント



屋根材の違いによる騒音の吸音率



人間の耳で感度の高い1600Hzで瓦は0.58という高い吸音率を示し、優れた遮音効果が確認されています。

